

目指す姿

- 6 鉄の持つ可能性
- 8 日本製鉄の挑戦

鉄の持つ可能性



鉄はサステナブルな素材

鉄は資源が豊富で
何度でも何にでも生まれ変わる素材

鉄は、資源量が豊富で、安価で、強度を持ちながら使いやすい、といった様々な特長があり、またリサイクルしてもあまり品質が低下しない持続可能(サステナブル)な素材です。こうしたことから鉄は、建物・橋といった社会インフラから、自動車、電力設備、家電製品に至るまで、様々な形で社会に大量に蓄積・再利用され、経済活動と豊かな暮らしを支える基盤となっています。

▶ P.166「鉄の魅力」

鉄の成長ポテンシャル

新興国と高級鋼が世界の鋼材需要をけん引

鉄は、炭素や他の金属の配合や温度・圧延の制御等により多様な特性を引き出すことが可能です。そして未だその特性が十分に引き出されておらず、今日でもその機能は進化を続けています。こうした性質を持つ鉄は、製造業向け、建設分野向けを問わず、幅広い用途において高度化するニーズに応え続けています。

また、高度化したニーズに対応する高付加価値品種の重要性が高まる一方で、汎用品種も社会基盤を支える素材としての重要な役割を担っており、途上国を含めた全世界における総鋼材需要は今後更に伸びる可能性を十分に秘めています。

▶ P.20「鉄鋼市場における将来リスクと機会」



日本製鉄の挑戦

世界No.1の 鉄鋼メーカーへの復権

実力利益1兆円以上を実現し、
グローバル粗鋼1億トン以上を目指す

日本製鉄は足元までに、国内における生産設備構造対策や、紐付分野を中心とする価格・マージンの改善を通じて、損益分岐点を大幅に改善するとともに必要な戦略投資も実行してきました。海外では選択と集中を図りながら、インド拠点での能力拡張やU. S. Steelの買収等、有望市場での生産能力確保・拡大を推進してきました。

今後は、一段と厳しい経営環境を想定し、国内事業においてはコスト競争力の徹底追求に加え、総合的ソリューションの展開、グループ総合力の最大化等を通じて各需要分野・品種ごとのニーズに応じた競争力を強化し、更なる収益力の向上を図ります。海外事業においては、米国、欧州、インド、タイを重点地域とし、設備投資の実行に加えて当社の技術・ノウハウを最大限移転することで、高級鋼から汎用鋼まで様々な需要を捕捉し、飛躍的に利益の拡大を図ります。

▶ P.25『2030中長期経営計画』の概要▶



カーボンニュートラル実現へ

世界の鉄鋼業界をリードしカーボンニュートラル社会を実現

当社は、石炭を用いて還元を行うこれまでの鉄鋼生産プロセスを抜本的に変えることにより、2050年までに鉄鋼生産プロセスからのCO₂排出ネットゼロの実現を目指します。「大型電炉での高級鋼製造」「水素による還元鉄製造」「高炉水素還元」等の革新技術の開発を複線的に推進しており、当社研究所に新設した試験電炉・試験還元炉での実証試験で得られた技術を結集して、その結果を着実に実機へつなげていきます。

▶ P.43「カーボンニュートラルへの取り組み」



(写真は試験還元炉操作室(手前)と試験還元炉(奥))